

重点施策12 文化振興事業の充実

【施策方針】

優れた文化芸術事業や郷土の先駆者を顕彰する企画展、歴史探検学習等を実施し、市民が文化活動・郷土史学習に参加し体験できる場を提供することにより、郷土愛を育むとともに、文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成に主眼を置き、幅広い分野での芸術、文化活動の市民への普及、啓発を実施する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

■文化芸術事業の振興

- ① 八幡浜市美術展の開催
- ② 県展八幡浜移動展の開催
- ③ 美術展「日本画山脈 再生と革新～逆襲の最前線」の開催

■文化会館事業

- ① 文化会館管理・運営
- ② 自主文化事業の開催
- ③ 企画プロデュース事業への助成
- ④ カルチャー教室・ロビー展の開催

(2) 施策・事業の実施状況

■文化・芸術事業の振興

① 八幡浜市美術展の開催

市民より作品を募集し、絵画（洋画、日本画、）版画、書道、写真、陶芸等の各分野から 230 点の応募があった。特に優秀な作品については市展優賞、市長賞、議長賞、教育長賞、文化協会長賞、推奨、高校生奨励賞等の表彰を行い、作品制作の励みとなるようにした。また、第 40 回目の開催を記念し、審査員の小作品を来場者に抽選で贈呈した。

観覧料は無料。観覧者 1,639 人（八幡浜市美術展委託料）400 千円

② 県展八幡浜移動展の開催

県展出品者の中から、八幡浜市出身者の作品を中心にして、八幡浜市美術展と同じく、絵画（洋画、日本画）、版画、書道、写真、陶芸等の作品 118 点を展示した。

観覧料は無料。観覧者 574 人（県展八幡浜移動展委託料）233 千円

③ 美術展「日本画山脈 再生と革新～逆襲の最前線」の開催

一般財団法人地域創造の助成を受け、岡山県新見市、佐賀県唐津市、広島県呉市、

愛媛県八幡浜市の共同巡回展として開催。28年度から4館合同で準備をおこない、全国の美術館や所蔵家から作品を借用、東山魁夷、平山郁夫ら戦後の巨匠から現在活躍中の若手作家まで29作家65点を展示し、戦後から現代に続く日本画の流れを紹介。併せて展示作品にちなんだ舞楽「陵王」の披露（協力：八幡神社清家宮司）、出展作家による解説や水墨画ワークショップ、市民図書館読み聞かせボランティアグループによるおはなし会等の関連事業を開催。

会期 10月15日～11月26日（37日間） 観覧者 1,838人 （開催館負担金ほか）
10,366千円

■文化会館事業

① 文化会館管理・運営

市民の日常の学習や文化活動の場として自己を高め、芸術文化の向上と地域文化を育み創造を図るとともに、生涯学習の拠点として自主文化事業の他、貸館業務や企画プロデュース事業、カルチャー教室、ロビー展などを実施した。

② 自主文化事業の開催

子どもたちに人気のある「ケロポンズ親子コンサート」や「NHK俳句王国がゆく」など幅広いジャンルの公演を開催。また、音楽ホールとしての機能を重視して整備した大ホールでのクラシック系のコンサートも開催。

③ 企画プロデュース事業への助成

市民が企画・立案し自主運営する文化事業（映画会・講演会・コンサート等）の支援を実施した。1件（La Musica）

④ カルチャー教室・ロビー展の開催

カルチャー教室については、地域文化の創造に貢献できる人材を育成するために公民館の学習講座と整合を図り「夢づくり・夢学び」をキャッチフレーズに、3講座をそれぞれ年間10回開講した。

また、ロビー展を作品発表の場として開放し「ミニ美術館」として活用し、市民の方々の優れた作品を展示し鑑賞していただいている。

【事務事業点検評価委員意見】

○ 文化・芸術事業は美術、音楽、伝統芸能、手作りのカルチャー教室の成果発表など、多様だった。年齢層を問わず、幅広い市民の方々が鑑賞したり、成果を語ったりして、よい交流の場となっていた。心が豊かになり、情緒を深め、明るい気持ちにさせてくれている。

特に、共同巡回展のような本物の美術作品に接することは、児童生徒には、心身ともに感性豊かな成長期にあるため、教育効果は大きい。学校でもクラシック音楽の生演奏を聴かせており、文化会館でもこうした文化・芸術事業に触れることのできる機会を設けてほしいと思う。便としては、教育の一環でもあるので、スクールバスの活用も検討してほしい。

- 文化会館自主事業は、オペラ、親子コンサート、マンドリン演奏会など来客が多く、大変好評であった。文化・芸術は広く理解を得るためにも、広報・啓発の工夫が必要である。

現在、文化会館ゆめみかんのホール稼働率は高いと聞いている。土曜・日曜は大きなイベントが多い。ゆめみかんも 21 年目を迎え、器具・施設面で老朽化していくことを大変心配している。施設設備の改善・新調に努めてほしい。近隣の方々の車の出入り、図書館利用など交通量は多い。文化会館周辺の駐車場の拡張整備・舗装強化（レンガの中庭、保内庁舎の玄関、新児童センター等）を考えてほしい。

【自己評価】

- 児童生徒に本格的な芸術作品の鑑賞の機会を提供することは、将来にわたり文化芸術への関心を高め、成人層にも展覧会や美術作品を身近に感じていただく契機となる。今後も計画的に各種企画展示を実施していきたい。

- 自主事業に関しては、幅広いジャンルの公演ができて良かったように思う。より多くの集客を考えた時には、全県的な広報及び周知を行う必要がある。そのためにはTV等による告知が必要だと考える。

設備面では、特に音響関係の機器での不具合が目立つ。そのため予算的に可能な範囲で少しずつ器具の交換修繕を行っている。

ホールの稼働率は大変高く、多い月には毎週休日にイベントが入っている状況である。平成 30 年度末には保育所・児童センターが完成し、その一角に文化会館の来客用駐車スペースも確保される見込みである。児童センターの駐車場と併せての使用が可能となるためいくらか余裕ができるものと考えている。